

凡 例

一、本巻には、終戦時から昭和三十年十二月分までの日本銀行調査月報に掲載された「論説」、「資料」、「日誌」、「計表」のほか、「付録」として同調査月報の補完資料を収録した。

二、収録各資料の内容は次のとおりである。

- (一) 「論 説」 内容が終戦後約十年間の国内経済に関するものを前第五巻に引続き収録した。収録に当っては利用上の便宜を考慮して、論説の内容によりこれを「経済一般」、「金融」、「財政」、「貿易・為替」および「産業・物価等」の五区分に分類したが、本巻にはこのうち前巻に収録しえなかつた「産業・物価等」の区分に属するものを、同調査月報への掲載年月順に配列した。
- (二) 「資 料」 「資料」の名称で掲載されている左記五資料を取りまとめて収録した。

掲載月報名	資 料 名	期 間
調査時報	財政資金の対民間収支分析 日本銀行券増減原因分析 資金蓄積状況分析 各支店金融報告抜萃	昭和二十二年一月～同二十五年三月 同 右 昭和二十二年度・同二十三年度 昭和二十二年一月～同二十五年三月
調査月報	各国の支払準備制度	

- (三) 「日 誌」 昭和二十年八月分から同三十年十二月分までを取りまとめて収録した。
- (四) 「計 表」 統計としての利用の便を考慮して縦書きのものを横書きに組直し、巻末に収録した。「計表」の内容および本巻への収録方法については、巻末の「計表」凡例を参照されたい。

(五) 「付 録」

(1) 総務部短信(昭和二十四年一月〜同三十年十二月間の月別)

日本銀行調査月報に掲載された「要録」の対象期間が限られている(昭和二十年八月〜同二十一年十二月間および同三十年十二月)ため、この補完資料として、同じく日本銀行の定期作成内部資料である「総務部短信」のうち、金融政策、金融制度および通貨に関する主要事項を収録した。

(2) 日本銀行調査月報総目次(昭和二十年八月―十一月号〜同三十一年一月号の発行月別)

各調査月報の資料掲載の原形を示すとともに索引としての利用の便をも考慮し、調査月報目次をそのままの形で収録した。なお収録を割愛した資料については、総目次における資料名の冒頭に※印を付して明示した。

三、原本には一部横書きのものがあるが、他の収録分との統一を図り縦書きに組直して収録した。

四、原文のままの復刻を原則としたが、漢字については新字体のあるものはこれに改めたほか、原本の明白な誤植は訂正し、不審な箇所には(原本のまま)と付記した。

五、編注は【】で表わした。